

【2020 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
点字の理論と実際		選択	2	1.2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
山田 栄子	講師控室	kyoumu	授業終了後に質問等受付		
授業の目的・概要	点字の役割、点字の歴史、視覚障がい者を取り巻く環境などを理解することを目的とする。そのために、点字の読み書き、分かち書きによる文章作成を通して、視覚障がい者の情報手段である点字を修得する授業を行う。				
学習上の助言	授業内容に関する質問は、授業中及びオフィスアワーの時間に受け付けている。疑問点を解決し、理解を深めて欲しい。				
教科書	授業に必要な資料を配布する。				
参考書	「点訳のてびき 第4版」/全国視覚障害者情報提供施設協会 編集・発行/株式会社大活字				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	視覚障がい者の文字である点字の必要性を理解できる。			HSU (5)	
②	点字の文章を書くことができる。			HSU (2)	
③	点字の文章を読むことができる。			HSU (2)	
④	街中にある点字サインを読むことができる。			HSU (5)	
⑤	視覚障がい者を取り巻く環境について理解できる。			HSU (5)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	事前事後学習内容・必要時間 (時間)		
1	講義の流れと、視覚障がい者における点字の必要性について。点字の筆記具、点字の書き方の基礎。	講義・演習	点字の必要性について復習する。	4	
2	点字の読み、書き 1 点字の基礎 (清音、濁音、促音、長音)	演習	点字の仕組みについて復習する。	4	
3	点字の読み、書き 2 点字の基礎 (ザ行、ダ行連濁と連呼)	演習	五十音について復習する。	4	
4	点字の読み、書き 3 仮名づかいについて学習する。(名刺作成)	演習	名刺などへの点字表記について復習する。	4	
5	点字の読み、書き 4 数字の書き方	演習	仮名づかいについて復習する。	4	
6	点字の読み、書き 5 数字の書き方 点字による質問 (日常生活用具について)	講義・演習	点字の読み取り練習をする。	4	
7	点字の読み、書き 6 アルファベットの書き方	演習	視覚障がい者に役立つ日常生活用具について復習する。	4	
8	点字の読み、書き 7 分かち書き (日常生活における点字サイン)	講義・演習	前回までの配布資料を復習する。	4	
9	点字の読み、書き 8 分かち書きの実際	演習	点字の読み取り練習をする。	4	
10	点字の読み、書き 9 分かち書きの実際 到達度テスト	演習	到達度テストについて復習する。	4	
11	点字の読み、書き 10 固有名詞の書き方、手紙の書き方について学習する。	講義・演習	手紙の書き方について復習する。	4	
12	点字記号の書き方 前回までの知識を確認する。(ガイドの方法)	講義・演習	視覚障がい者への接し方について復習する。	4	
13	絵本作成 絵本の点訳 (下書き)	演習	課題プリントで予習する。	4	
14	絵本作成 絵本の点訳 (タックペーパー使用)	演習	課題プリントで予習する。	4	
15	これまでの学習の総括 案内文、公用文の書き方	講義・演習	点字の実際について復習する。	4	
試	定期試験 達成度評価、評価のポイント参照				

【2020 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		50	20	0	0	30	
総合 力 指 標	知識・技術力	30	10	0	0	0	40
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	10	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	20	10	0	0	20	50
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①		基礎学習終了後、到達度を図るためのテストを1回行う。最終試験は授業内容に合わせた問題で行う。(評価割合は全体の 50%)				到達度テストを添削、返却し、問題点を解説。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	授業内容に合わせた練習問題を毎回行い、提出する。(評価割合は全体の 20%) 欠席の場合は、練習問題の提出が不可能なため、減点の対象となる。				練習問題等の添削、返却。問題点の解説。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	授業態度も評価の対象。(評価割合は全体の 30%)				レポート、課題に対する解説。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
備 考							
<p>受講者定員は 30 名とする。 授業中の私語、携帯電話、スマートフォンの使用などは禁止します。</p>							